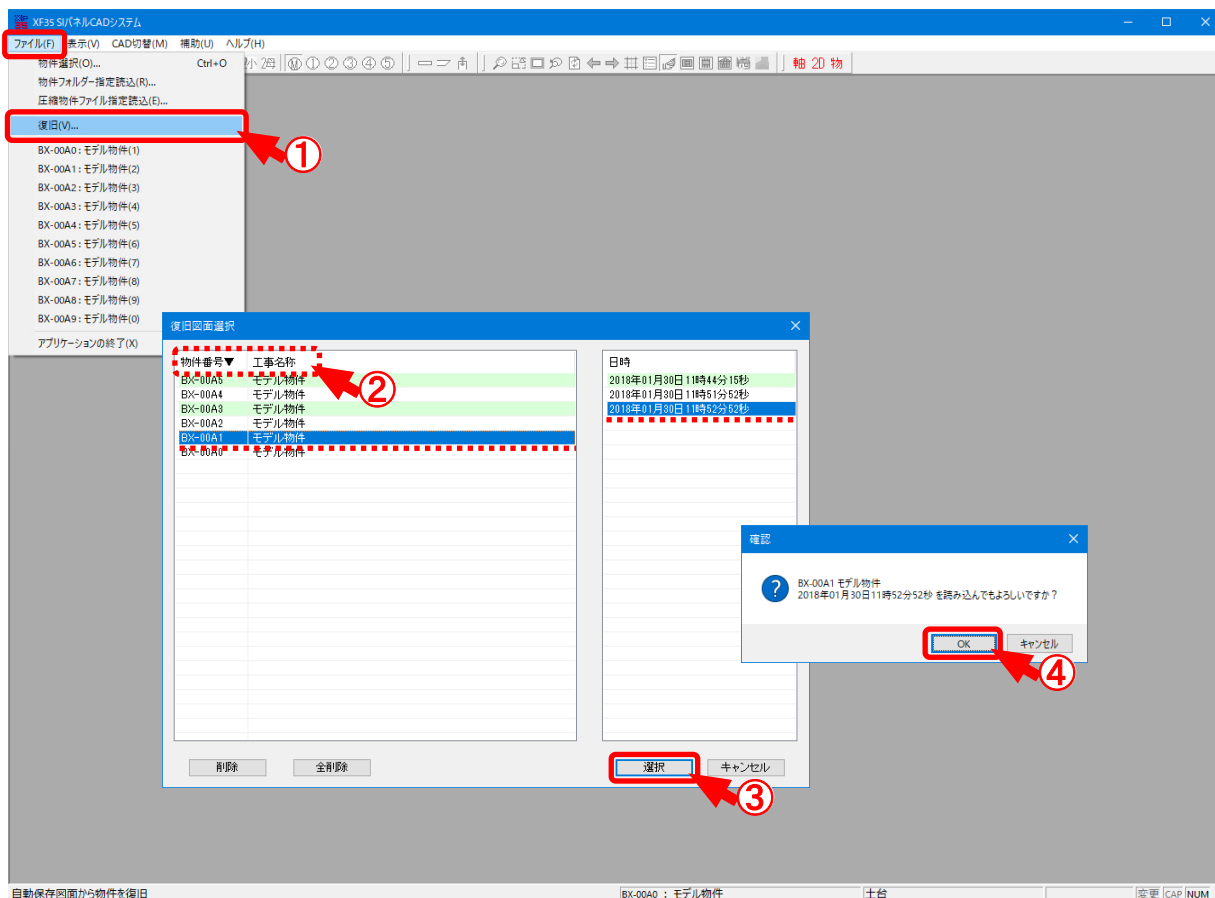


## ファイルー復旧



復旧では、物件データを自動保存した日時まで復旧することができます。

- ① 「ファイルー復旧」を選択します。
- ② 「復旧図面選択」の画面が表示されます。  
「物件番号」や「工事名称」をクリックすると、復旧図面の表示順序が変更できます。
- ③ 物件を選択し、「日時」で保存された時間を選択します。  
「選択」をクリックします。
- ④ 「確認」の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。
- ⑤ 選択した日時の時間まで、データが復旧されます。



〔補助ー操作モード設定〕の「自動保存」がチェックON場合、設定した時間の間隔で物件データが自動保存されます。

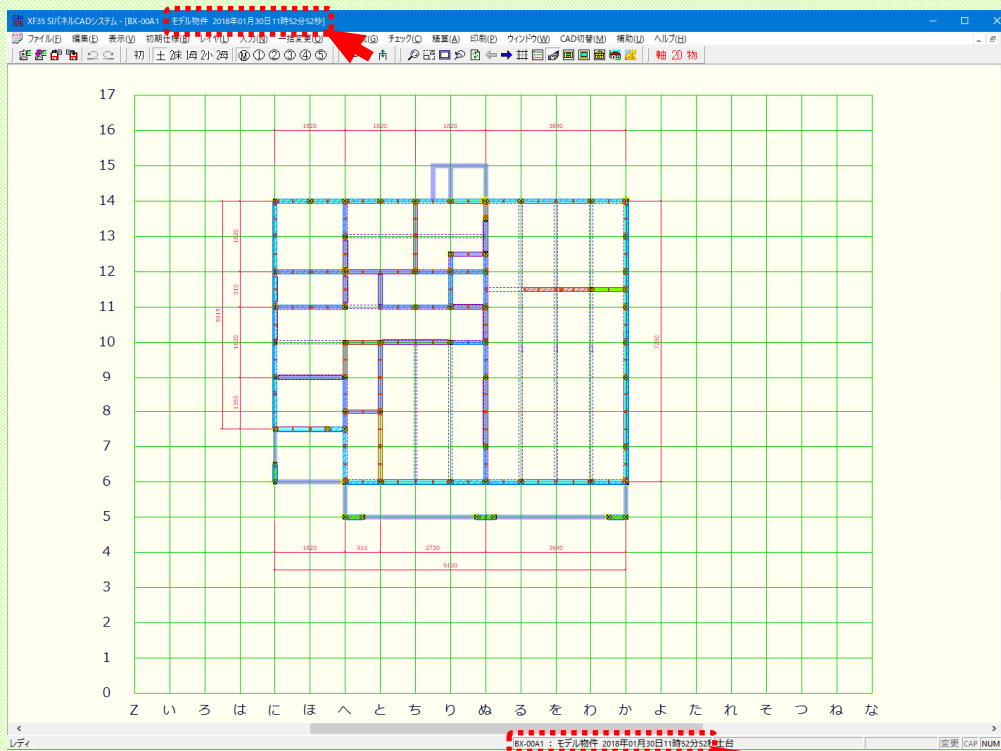
また、設定した世代数（1物件のバックアップ数）が自動保存されます。

※ 設定した世代数を超えると、バックアップ日時が古い復旧図面が削除されます。

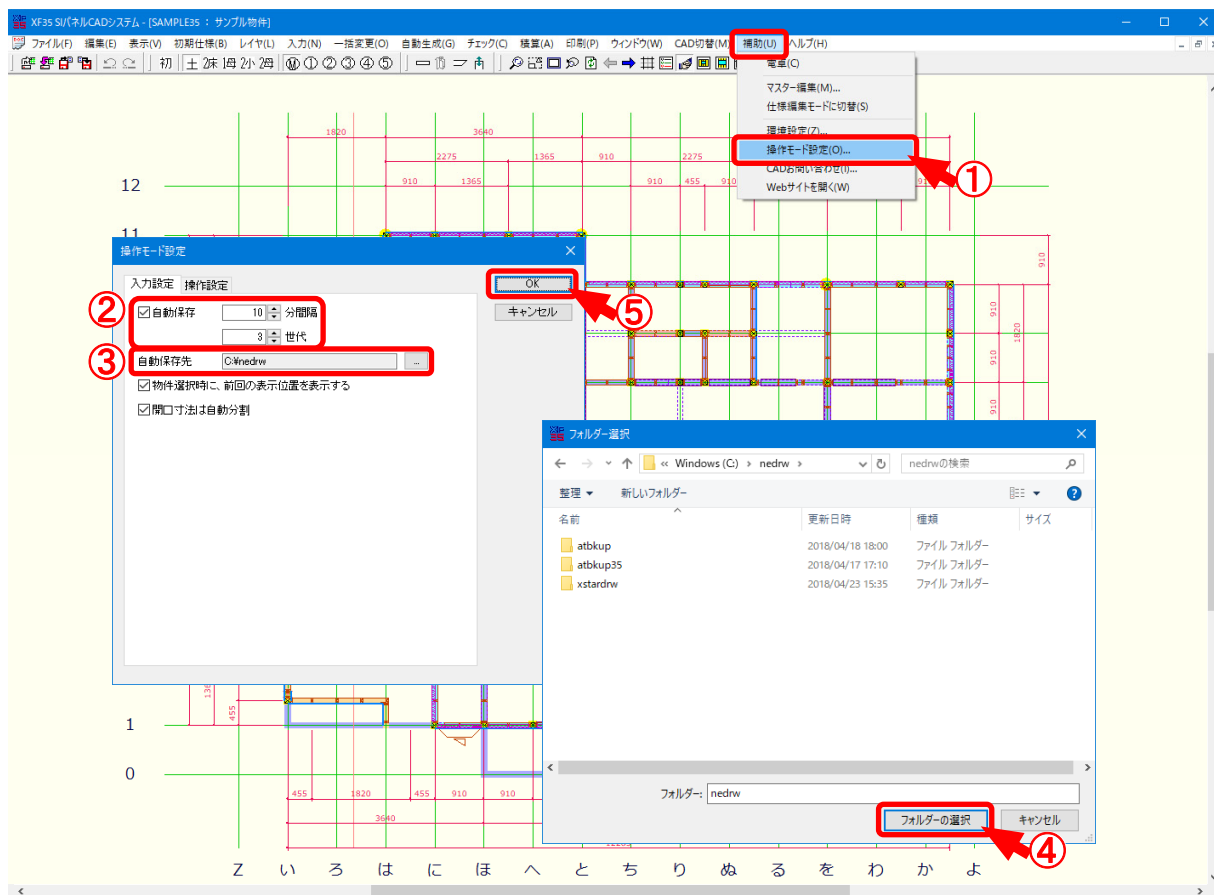
ファイル復旧



復旧図面を起動すると、タイトルバーに復旧図面の保存日時も表示されます。



補助—操作モード設定—入力設定／自動保存



入力設定／自動保存では、自動バックアップの時間と回数、保存先が設定できます。

- ① 「補助—操作モード設定」をクリックします。
- ② 「操作モード設定」の画面が表示されますので、「入力設定」をクリックします。  
「自動保存」にチェックをつけ、自動バックアップの間隔と回数を設定します。  
※ バックアップの回数を超えると、古いデータから消去されます。  
※ 自動保存では1～30分間隔、3～10世代の間から設定できます。
- ③ 自動バックアップの保存先を変更する場合は、「自動保存先」で  をクリックします。
- ④ 「フォルダ選択」の画面が表示されます。  
自動保存先を指定し、「フォルダの選択」をクリックします。  
ネットワーク上や外付けのハードディスクが選択できます。
- ⑤ 設定後、「OK」をクリックします。